

校長室の窓から No.4

平成25年 6月 3日
尼崎市立武庫東中学校
校長 小谷 豪 郎

修学旅行特集：長崎・熊本の旅



初の試み、朝の出発から校区内でそれぞれ班別に集合し新神戸駅に集合。どの班も事前の計画通り行動ができ無事に集合できました。危うく遅刻かと思われた者もいましたが、時間通りに全員そろって出発式ができました。



新幹線の旅はあっという間で、博多からバスに乗り換え長崎市の平和公園に着きました。
平和の像の前でクラス写真を撮り「平和学習」のセレモニーを行う爆心地公園に移動します。



爆心地公園で整列し、世界で唯一の被爆国であること、平和の大切さについて改めて確認し、慰霊碑に向かって全員で黙祷。
その後全員で「折り鶴」という被爆体験を歌った唄を合唱しました。



高齢の観光に来られていた団体の方々や修学旅行の小学生たちが、足を止めて合唱に聴き入っていました。
そして、各クラスで作った「千羽鶴」を奉納し、代表の梶原君中本君が、力強く「誓いの言葉」を述べてくれました。
この後、原爆資料館でさらに学習を深めました。



1日目の「平和学習」は、充実した時間を過ごせました。
さて移動が長かった初日でしたが、ホテル前での入館式を終え早く部屋でゆっくり休みたいと思っている人もいるのではないのでしょうか。



宿舎での楽しみと言えば、食事です。特に男子の食欲には感心しました。最近の子どもたちは好き嫌いが多く食べ残しも多いと聞きますが、そんなことは全く有りませんでした。全てのテーブルが何一つ残すことなく、ホテルの従業員さんがとても感激していらっしゃいました。



食事の次は、やっぱりお風呂でしょう！本当の裸の付き合いはやっぱり良い物ですね、そういえば、私が昔担任だった頃、修学旅行や宿泊学習で生徒と一緒に風呂に入ってたなあ。
最近の先生は違うのかな？ いや私が変なのかな？



平和公園でのセレモニー・誓い、学年活動での先生の話、親への感謝の手紙、君たちの保護者の方々からいただいた手紙、それぞれを素直に受け止めて自分自身を振り返るとても良い時間がもたれたと思います。修学旅行1日目とても充実した1日を過ごせたのではないのでしょうか。



本日の「平和学習」のまとめの会、市田先生のお話に始まり戦争体験の話、そして親子の絆、親への感謝の手紙、親から生徒たちへの手紙が紹介され、感性の豊かな生徒たちは涙を流しながら話に聞き入っていました。

そして、自分を振り返り日頃は言えていない親や家族への感謝の気持ちを素直に手紙に綴ることになり、自分たちのイスを机代わりに真剣に手紙を書きました。ここでも感性の豊かな者、他人に言えない重い物を背負った者は、涙が止まらずになかなか手紙が書けませんでした。

2日目は班別による市内自主研修、さて長崎港の近くでバスを降ろされこれからどこへ行くのやら、迷子にならずに市内をしっかりと回り中華街で昼食をとって、集合場所へ時間通り集合できますように。お土産を買う時間が無くなってしまいますよ

皆も行った眼鏡橋、天気も良く綺麗に水面に石橋が映り眼鏡のように見えていました。
みんな眼鏡橋から河原に下りて、見つけたらラッキーなことがあるといわれているハート型の敷石を探していました。

先生は少し裏通りをうろうろして変わった眼鏡橋を見つけました。昔の眼鏡屋さんの入り口だったそうです。
通称「裏眼鏡橋」だそうです。



長崎の定番観光スポット出島です。その昔日本が鎖国をしていた頃に唯一外国人が出入りできた場所ですが、道路に囲まれて昔のイメージ（人工島）があまり感じられません。



中華街の入り口です、いよいよ待ちに待ったランチタイム！
各班で相談してお店を決めて、さてメニューは何があるのか楽しみです。
ランチだけでは物足りなく、デザート？スイーツ？を食べに2軒目に挑戦したグループも有ったようです。



いよいよ市内自由研修も終わり、お土産購入タイム、長崎と言えばカステラ、それも何種類もあって目移りします。
後は名産品のびわ、びわゼリーやびわのお菓子等々鞆に入るかな？



長崎から熊本への移動は、バスで諫早・雲仙を通り抜け島原半島をぐるっと回り島原外港から高速カーフェリー「オーシャンアロー号」で島原湾を渡り熊本港に到着し、再びバスで阿蘇をめざして出発です。



フェリーの中で市田先生と戸井先生が、修学旅行中の小学生を捕まえてちょっかいをかけていました。小学生たちは人なつっこくとても楽しそうに話していました。

ここでちょっと雑談、先生は長崎市内の全てのポイントを回りながら裏道をうろうろして、あの裏眼鏡橋のような変わった物、不思議な物、を見つけましたので紹介します。



長崎の観光マップなどにも載っている「七不思議」だそうです。左のマンホールですが、眼鏡橋から出島へ行く途中の商店街のアーケード通りにあるのですが、中心のマークをよく見てください。長崎市の市章は☆印です、しかし、このマンホールだけが、六角形、魔力を封印するといわれるユダヤの六芒星か、日本でも「籠目紋」というやはり魔除けの護符として使われる。ということで取り替えずに残してあるので、すり減っています。



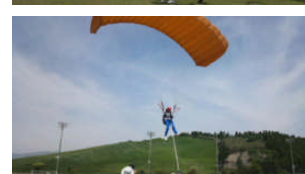
次は、ちょっと裏通りに入ったところで見つけました。路面電車をそのままお店の顔にしているのです。入り口も勿論運転席へのドアがそのまま取り付けてありました。中には看板類やミニチュアのジオラマ、運転席はそのまま、鉄道ファンにはたまらない店です。実はこのお店、喫茶・軽食のお店で先生は中華街ではなくこのお店でランチタイムをすることにしました。



長崎名物「トルコライス」長崎のちゃんぽんの文化、いろんな物を受け入れ混ぜ合わせて長崎の文化に取り込む、そんなところからできた名物だそうです、簡単に言えば、(炒飯) + (ナポリタン) + カレーがかかった(とんかつ)の3種類、中華、洋食、和食が一皿にセットされた物です。トリコロール(三色旗)から変化した名前とも言われています。



長崎検番所、思案橋からすぐ近くの旧花街の丸山に残る芸者さん・舞子さんの管理組合、踊りや三味線、唄いなど日々の練習をするところです。丁度、家の中から三味線の音が聞こえていました。



2泊目の阿蘇では、夕食はバイキング勿論食べ放題ということで皆さんのご想像の通り、おかわりの列は時間いっぱいまで無くなることはありませんでした。なんと男子だけでなく女子もなかなかの食欲でした。

明日の最終日に向けてリーダー会議、夕食を食べお風呂も入りそろそろ眠くなってきた班長さんも・・・

修学旅行3日目、最終日のスポーツ体験です、カヌー体験と乗馬体験はここからさらにバスで移動します。荷出先生がマウンテンバイクで颯爽とスタートしました。



左は、フリスビーで行うタッチフットのようなアルティメット。右は、フリスビーで行うゴルフ型スポーツ、ディスクゴルフ



このグループはパラセーリングを楽しみました。ヘルメットに安全装具のハーネスを背負っていよいよフライト準備。最初は自力で走って浮力を付ける練習をしましたがなかなかうまくいきません。

だいたふなれてきて、風も少し出てきたところでロープを使ったこの様に飛ばす段階になると、やはり体重の軽い小柄な女子生徒は一気に飛び上がり3m以上の浮遊を楽しみました。インストラクターが、校長先生も是非というので挑戦しましたが、男子が一生懸命ロープを引っ張るのですが、やはり体重があるのでなかなか浮きません何とか2mほどは浮きましたが、着地後、風が強くて倒れたまま引きずられてしまいました。

しっかりスポーツ体験でお腹をすかした生徒たち、修学旅行最後の食事はカレーでした。席に着くなり「おかわり有りですか？」と聞き、OKが出たのでいただきますから3分も経たない間に行列ができていました。これまた男子だけでなく女子もしっかり並んでいました、恐るべしこの食欲。

学校に到着し解散式を行いました。休日にもかかわらず沢山の先生が、校舎の電灯だけでなく車のライトまで使って場を設定してくれました、ありがとうございます。

3年生の皆さんが、この良き思い出を胸に残りの学校生活をさらに充実していけることを願っています。